

材木座水産／神奈川県

海は毎日違う。だから、漁がたまらなく面白い

観光地として人気の鎌倉。でも、海の幸の宝庫であることはあまり知られていません。11年前に初の女性漁師が誕生。育てた弟子も活躍するなど若手漁師を牽引しています。

取材・文／岸田直子 撮影／原田圭介



左上／前日に網を仕掛けた場所へ向かう。
左下／この日とれたのはヒラメ、タカノハダイ、カワハギ、メバル、サザエなど。「史上最悪の不漁! まあ、こんな日もある」と前田さん。



機材を積んだ船を浜から押し出し、直接海に出る。



「材木座水産」で加工し、卸売りしているワカメとタコ。



タコ漁に使うかご。

とにかく漁が好き！
子育てと家事以外の時間は
漁のために使ってます



道具もすぐ使えるよう、網の横に用意されている。



漁師たちは海から戻ると、漁具の手入れや修理をする。「私は保育園のお迎えや家事があるからできなくて。だから、時間ができると網の修理をしています、どこに仕掛けようか、考えるだけで楽しめます」。



「師匠は男の人に負けないほど、カッコいい漁師です」と、弟子の桑原さん（左）。昨年独立した24歳の若手漁師ながら、今では前田さんのよきライバル。



鎌倉漁業協同組合の正組合員になったときに造った「第二桃丸」の前で。名前にちなんだ桃色の線が目印。

それから、親方のもとで前田さんの漁師修業が始まったのです。

答えがすぐ返ってくるのが漁業の楽しさ

鎌倉には漁港がないため、波が打ち寄せる浜から海へ、直接船を出さなければなりません。風があり、波が高いと男性でも危険が伴います。そんな困難も仲間たちに助けをもらいながら、ひたすら漁に出続けた前田さん。

「自分で考えて網を仕掛けると、答えがすぐに返ってくる。それがたまらなく面白くて楽しい。タコ、カマス、イセエビ、サザエ、ヒラメ、アワビ……獲物によって漁法も漁具も違うし、海の状況も毎年違います。覚えることがたくさんあって夢中で漁に出ました」

その姿勢が鎌倉漁業協同組合に認められ、2006年に正組合員に。2008年には正組合員に。そして前田さんに憧れて、自分も漁師になりたいという桑原桃子さんを弟子にするまでになりました。

「自分が弟子だったころ、親方は余計なことをこちゃこちゃ言わなかったの、私もそれを心がけました。その少し前から、若い漁師が増えていたから、彼女も気は楽だったんじゃないかと思います」

2012年、前田さんは公私ともに信頼する親方と入籍。しかし、その1週間後に親方は逝去。

Profile

前田桃子さん

1978年生まれ。上智大学文学部卒業。2002年、「もんざ丸 前田水産」でアルバイトを始める。2006年に鎌倉漁業協同組合の准組合員に、2008年に正組合員に。2012年、結婚。「もんざ丸 前田水産」の社長を経て、2016年に「材木座水産」を立ち上げる。一女の母。
所在地／神奈川県鎌倉市材木座6-1-31

翌年、女の子を出産し、弟子育ての次には、子育てをすることに。

おばあちゃんになっても漁師でいたい

今では長女も5歳。毎朝7時に保育園へ送り届け、7時30分に漁へ。「本当は4時に出たいんです。前日に仕掛けた網を、翌朝早くに揚げたいから。でも、今はしょうがない」。自分のやりたいことに全力を注ぎたい、と「もんざ丸 前田水産」から離れ、昨年「材木座水産」を立ち上げました。水揚げしたタコやワカメの加工も一人でこなしています。

「漁師に定年はありません。漁に出られる限り、いくつになっても腕をあげ、進化することができま。だから私はおばあちゃんになってもずっと漁師でいたい。そして、鎌倉の海の豊かさを多くの人に知ってほしいと思っています」

鎌倉の海の豊富な魚介類に魅せられて

日本有数の観光地、神奈川県鎌倉市。その海で漁が行われていることをご存じですか。「地元の人からも『鎌倉に漁師がいるの?』と言われる」と笑うのは「材木座水産」の前田桃子さん。女性として初めて鎌倉漁業協同組合の正組合員になった漁師です。

生まれも育ちも鎌倉ながら、特に海に興味はなかったという前田さんが、なぜ漁師に? それは15年前、材木座で漁業と水産加工販売を手掛ける「もんざ丸 前田水産」でアルバイトを始めたことがきっかけでした。仕事の内容は、船から揚げてきたシラスの加工や販売。ところが、働き始めて2年後、シラスが大不漁になり、前田さんの仕事がなくなってしまうのです。ここではシラス漁のほかに定置網や刺網(※1)、みづき(※2)などさまざまな漁を行っていたため、前田さんは当時の社長でもある「もんざ丸」の親方に頼んで、船の仕事を手伝わせてもらうことに。

「いろいろな漁を体験させてもらいました。中でも、海底を直接見ることができるみづき漁では、鎌倉の海に多くの種類の魚介類がいることを知って感動。そのすばらしさに魅せられてしまいました」

※1 刺網：帯状の網を仕掛け、魚を絡めてとる漁法。 ※2 みづき：船端から眼鏡で水中をのぞき、もりでサザエなどをとる漁法。